

芸 術

(書道Ⅲ)

発 番 号	行 名	者 称 略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検 定 済 年
2	東京書籍	東書	書Ⅲ 701	A 4	72	令和5年
6	教育図書	教図	書Ⅲ 702	A 4	94	
38	光村図書出版	光村	書Ⅲ 703	A 4	66	

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

書道Ⅲ		冊数	3冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書701 教図702 光村703		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【芸術の目標】

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【書道Ⅲの目標】

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【書道Ⅲの内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>A 表現</p> <p>表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 漢字仮名交じりの書</p> <p>漢字仮名交じりの書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求すること。</p> <p>イ 現代の社会生活に生きる様々な書の表現とその要素について理解を深めること。</p> <p>ウ 書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けること。</p> <p>(2) 漢字の書</p> <p>漢字の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求すること。</p> <p>イ 漢字の書を構成する様々な要素について理解を深めること。</p> <p>ウ 書の伝統を踏まえ、書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けること。</p>	<p>(1) 生徒の特性、学校や地域の実態を考慮し、内容の「A表現」については(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を、「B鑑賞」の(1)のイについては(ア)、(イ)又は(ウ)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。</p> <p>(2) 内容の「A表現」の(2)及び(3)については、目的に応じて臨書又は創作のいずれかを通して指導することができる。</p> <p>(3) 内容の取扱いに当たっては、「書道Ⅰ」の3の(5)及び(9)から(11)まで、「書道Ⅱ」の3の(1)及び(5)と同様に扱うものとする。</p>

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>(3) 仮名の書 仮名の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求すること。 イ 仮名の書を構成する様々な要素について理解を深めること。 ウ 書の伝統を踏まえ、仮名の書の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けること。</p> <p>B 鑑賞 鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 鑑賞 鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)について考え、書の高さや美しさを味わって深く捉えること。 (ア) 書の普遍的価値 (イ) 書論を踏まえた書の芸術性 イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解を深めること。 (ア) 線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性 (イ) 日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり (ウ) 書の歴史と書論</p> <p>[共通事項] 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解すること。 イ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解すること。</p>	<p>【参考】「書道Ⅰ」の3の(5)及び(9)から(11)まで</p> <p>(5) 内容の〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫する。</p> <p>(9) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。なお、内容の「B鑑賞」の指導に当たっては、作品について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。</p> <p>(10) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、書道の諸活動を通して、生徒が文字や書と生活や社会との関わりを実感できるよう指導を工夫する。</p> <p>(11) 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、書に関する知的財産権について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、書の伝統と文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。</p> <p>【参考】「書道Ⅱ」の3の(1)及び(5)</p> <p>(1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、相互の関連を図るものとする。</p> <p>(5) 内容の「B鑑賞」の指導については、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。</p>

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調 査 項 目		対象の根拠（目標等との関連）
a	単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第7節第3款
b	芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導	学習指導要領第2章第7節第2款第12 3(3)
	その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。
- b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導
 - ・ 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導についてどのように扱っているかを見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）
 - ・ 学習指導要領の第3款の中で「題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて」と言及されているので、書道Ⅲでは、各単元(各文章)における「表現」「鑑賞」の指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。
- b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導
 - ・ 学習指導要領では、「内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫する」とこととされている。このことから、芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	芸術
科目名	書道Ⅲ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	東書
教科書番号	書Ⅲ701
教科書名	書道Ⅲ

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A 表現】	<p>①漢字仮名交じりの書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「創作—自己表現」という学習活動が設定され、現代作家の作品を多数掲載し、様々な線や形について理解を深めることができるよう工夫されている。 ・生活の中の書を紹介し、書を身近に感じられるよう工夫されている。 ・卷子本や冊子本、掛軸等を紹介し書の伝統を踏まえながら、日常生活の中でも「漢字仮名交じりの書」が多く使用されていることを改めて認識できるよう工夫されている。 ・詩・俳句・短歌・小説などを引用し、意図に基づいた表現を試みている作品が多く掲載されているため、主体的な構想に働きかけるよう工夫されている。 <p>②漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「篆書」「隸書」を多く掲載し、様々な物や場面で使用されている書を図版や写真で学びながら、「草書・行書」「楷書」と、文字の成立順に学習を進められるよう工夫されている。 ・「草書・行書」「楷書」では、多数の作品を掲載し、時代ごとの書体の流行が伝わるよう工夫されている。 ・作品ごとに「表現の特徴」を掲載し、線質、構成、字形について理解を深められるよう工夫されている。 <p>③仮名の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の線や美の比較だけでなく、作品ごとの料紙の美しさも伝わるよう工夫されている。 ・細字による古筆の臨書や鑑賞だけでなく、条幅への「大字仮名」の創作を学習活動として設定し、線・リズム・字形に加えて、墨継ぎの位置などを総合的に考えて創作できるよう工夫されている。
【B 鑑賞】	<p>①書論を踏まえた書の芸術性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書譜」を代表とする「書論」では、中国の書が芸術として進化して、日本にも浸透していった事が伝わるよう工夫されている。 ・日本では、「仮名」と「院政」の関連が取り上げられて、歴史とともに仮名の変遷が理解できるよう工夫されている。 ・「寛永の三筆」という学習活動では、安土・桃山時代の絵師による下絵と書の調和について詳しく紹介され、より深く鑑賞できるよう工夫されている。 <p>②日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典作品の一部だけでなく作品全体を取り上げ、多くの図版を紹介することで、各時代の背景を踏まえて鑑賞できるよう工夫されている。 ・中国・日本ともに、作品の配列順を考慮し、作者の表現や個性が比べられるよう工夫されている。 ・「日中書道の交渉」という学習活動で遣唐使や留学僧を紹介し、書の伝統と文化の関わりについて理解を深められるよう工夫されている。
b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの創作活動の一環として、作品を完成させて相互評価する場面を設けるよう工夫されている。 ・「漢字仮名交じりの書」では、書体や書風、用具用材、紙面構成等、作品全体のイメージをもつ学習をして創作することで、意図に基づいた表現の工夫について考える言語活動ができるよう工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・我が国や中国の書に対する歴史が書論とともに紹介され、時代ごとの書の変遷と両国の関わりを学ぶことができるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・「書とともに歩む」という学習活動の中で、生活の場面での安全を考えるきっかけとすることができる作品を取り上げている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのページに二次元コードを掲載し、教科書に掲載している教材の解説や書き下し文、大意などが確認できるよう工夫されている。 ・二次元コードを読み込んで、書道用語が参照できるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	・色彩デザインを含むユニバーサルデザインに配慮するよう工夫されている。

教科名	芸術
科目名	書道Ⅲ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	教図
教科書番号	書Ⅲ702
教科書名	書Ⅲ
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A 表現】	<p>①漢字仮名交じりの書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「線、字形、構成、リズム、間、墨、線」の六つの項目に分類して作品を紹介することにより、比較しながら作品の構想と表現の工夫について理解を深められるよう工夫されている。 ・現代作家の作品を多数掲載し、「主体的な構想」「個性的・創造的な表現」を促すよう工夫されている。 ・挿絵により、気付いてほしい作品の特徴が伝わるよう工夫されている。 <p>②漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「篆書」「隸書」「草書・行書」「楷書」と文字の成立順に学習を進められるよう工夫されている。 ・「草書・行書」「楷書」では、時代ごとの書体の流行が伝わるよう工夫されている。 ・「明朝時代」の書も積極的に掲載し、多様な作品を紹介するよう工夫されている。 ・挿絵により、気付いてほしい作品の特徴が伝わるよう工夫されている。 <p>③仮名の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用筆や料紙を細かく分析して記述し、表現の特徴が理解できるよう工夫されている。 ・古典作品を比較することで、線質の違いをより鮮明に伝えられるよう工夫されている。 ・料紙で自然の風景や絵画のような世界を表現し、そこに文字を美しく配列するという仮名の書を構成する要素を踏まえた作品を掲載するよう工夫されている。 ・挿絵により、気付いてほしい作品の特徴が伝わるよう工夫されている。
【B 鑑賞】	<p>①書論を踏まえた書の芸術性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全編を通して「書論」のコラムを多く掲載することで、書の芸術性について多角的に捉え、深く味わう鑑賞へとつなげるよう工夫されている。 ・中国の書家の言葉だけでなく、我が国の書家の言葉も「書論」に掲載し、より身近に書への理解を深め、作品を鑑賞できるよう工夫されている。 <p>②日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に文字が書かれている物や文字のある場所を示す事で、より現実的なイメージが湧くよう工夫されている。 ・日本と中国の文字が書かれた時代の周辺文化の変遷を示す事で、書の伝統や、文字と日常生活、文化の関連性が伝わってくるよう工夫されている。 ・「料紙と書の調和」という学習活動を設定し、我が国独特の表現や美意識を示すよう工夫されている。
b 芸術科書道の特徴に応じた言語活動を適切に位置付けた指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「今、何を感じますか？」という学習活動が設定され、展覧会で作品を鑑賞して話し合っている様子を掲載し、言語活動を行うきっかけを作るよう工夫されている。 ・「書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を学んだ生徒に、日常生活の中に生きている書が、単に「書く」だけではなく、感性を磨き、豊かな生活や社会を創造することにつながるという気付きを促すよう工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・中国での文字の発達や我が国への伝来とともに、それぞれの書の個性についても注目させるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉と書の響き合い」という学習活動の中で、「地震後詩」が紹介され、自然災害について考えるきっかけを作っている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのページに二次元コードを掲載し、美術館・博物館のホームページへのリンクや、作品の解説・読みの情報が確認できるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮するよう工夫されている。

教科名	芸術
科目名	書道Ⅲ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	光村
教科書番号	書Ⅲ703
教科書名	書Ⅲ
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A 表現】	<p>①漢字仮名交じりの書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的な構想」「個性的・創造的な表現」の追究を学習活動として設定し、言葉と表現の一致に重点を置くよう工夫されている。 ・「書論」を実際に書く学習活動が設定され、言葉と表現方法の関わりについて理解を深められるよう工夫されている。 ・「未来への決意を書こう」という学習活動の中で、「著作権」についても理解を深められるよう工夫されている。 <p>②漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「篆書」「隸書」「行書・草書」を多数掲載し、漢字の書の多様性を学習するとともに、多くの古典に触れることで、書の伝統を踏まえた表現への理解を深められるよう工夫されている。 ・「漢文を書こう」という学習活動が設定され、「条幅」に馴染みの漢文を書くことにより、親近感が湧くよう工夫されている。 <p>③仮名の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの作品を掲載し比較することで、「仮名の多様性」について理解を深められるよう工夫されている。 ・「際立つ個性を楽しもう」という学習活動が設定され、書論を交えながら「書体」「書風」を比較し、「個性」を発見できるよう工夫されている。 ・「古今和歌集を書こう」という学習活動が設定され、仮名の書の特徴を生かした創造的な表現を促すよう工夫されている。
【B 鑑賞】	<p>①書論を踏まえた書の芸術性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見返しに、「書論とは」として能書家の言葉を引用し、鑑賞のねらいが理解できるよう工夫されている。 ・書論にまつわる「王羲之」の幼少の頃からの逸話や、用具を大切に「空海」などを漫画で紹介し、書道に興味をもたせるよう工夫されている。 ・全編を通して「書論」のコラムを多く掲載することで、書の芸術性について多角的に捉え、深く味わう鑑賞へとつなげるよう工夫されている。 <p>②日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行書」と「草書」では明清時代の「長条幅」を比較し、造形やリズムで表現された個性的な書が味わえるよう工夫されている。 ・「文士の手紙」という学習活動が設定され、日常生活の中での書き手の思いや個性を味わうことについて理解を深められるよう工夫されている。
b 芸術科書道の特徴に応じた言語活動を適切に位置付けた指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を比較して、作者の個性や美の要素を分析し、与える印象などを話し合うことができるよう工夫されている。 ・「仮名の書」では、料紙や変体仮名に注目させ、仮名特有の美について話し合うことができるよう工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「刻字を楽しむ」では、「旧富岡製紙場」の門柱のような歴史的な建造物や、寺社にある刻字を紹介し、我が国の文化と書の関わりを理解するとともに、それぞれの特徴から彫り方の違いを理解させるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の中の書」という学習活動の中で、「西日本豪雨」からの「復興メッセージ」が紹介され、自然災害について考えるきっかけを作っている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの二次元コードからポータルサイトを確認できるよう工夫されている。 ・「街に息づく書」として各地域で身近に感じることができる写真資料を多数掲載している。 ・指導に役立つ動画資料も多数掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮するよう工夫されている。